

# 第58回 定時株主総会

2023年6月23日

 **日比谷総合設備株式会社**

## 基本戦略

- 【営業戦略】 アライアンス・パートナーとの「共創」による「LCトータルソリューション」の進化
- 【技術戦略】 技術の高度化による生産性向上
- 【人財戦略】 ワークスタイル変革、多様性（ダイバーシティ）、健康経営
- 【ESGへの対応】 持続可能な社会実現に貢献

## 注力領域

- 【DX推進】 事業領域の拡大、デジタル技術を活用した効率化・働き方改革
- 【HIBIYA未来創造】 脱炭素・省エネ技術に着目した事業展開

2020年度（第56期）を初年度とし、2022年度（第58期）を最終年度とする「第7次中期経営計画」の基本戦略と注力領域についてご説明いたします。

「営業戦略」では、アライアンス・パートナーとともに、建物ライフサイクルの全体にわたるソリューション提供による業容拡大を目指し、

「技術戦略」では、「技術の高度化」と「現場力の強化」による生産性の向上を図り、

「人財戦略」では、ワークスタイルの変革を推進しつつ、社員の多様性（ダイバーシティ）や健康経営に取り組むとともに、

「ESG（環境・社会・ガバナンス）」への対応も図ってまいりました。

「第7次中期経営計画」では、特に2つの領域に注力しました。

1つめは、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」の推進です。デジタル技術を最大限に活用し、「事業領域の拡大」、「施工管理の効率化」、また、「ワークスタイルの変革」に取り組みました。

2つめは、『HIBIYA未来創造』です。気候変動やサステナビリティへの関心が高まっている中、10年後を見据え、脱炭素・省エネ・省資源の技術に着目した事業展開を行いました。

# 第7次中期経営計画の主な取り組み／営業戦略

## アライアンスパートナーとの協業による事業領域の拡大

設計業務、省エネコンサル業務等の提案を推進

当社グループ

アライアンス  
パートナー

お客様  
・サービス

【2022年度（第58期）の実績】

企業数（累計）： 28社

取り組み件数： 62件

### 【事業領域拡大の具体例】



※ ZEB・・・快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーをゼロにすること

営業戦略の取り組み事例：アライアンス・パートナーとの協業による事業領域の拡大についてご説明いたします。

「脱炭素」、「ZEB：ゼロ・エネルギー・ビル」、「エネルギーサービス」、「DX」といった事業領域を拡大させるため、リース会社、コンサルティング会社、エネルギー供給会社、また、NTTグループ企業などのアライアンス・パートナーと積極的に協業し、「自治体・公共設備」、「エネルギーセンター」、「オフィスビル・研究開発施設」などへの提案を行いました。

2022年度（第58期）におきましては、28社と協業し、62件の取り組みを行っております。

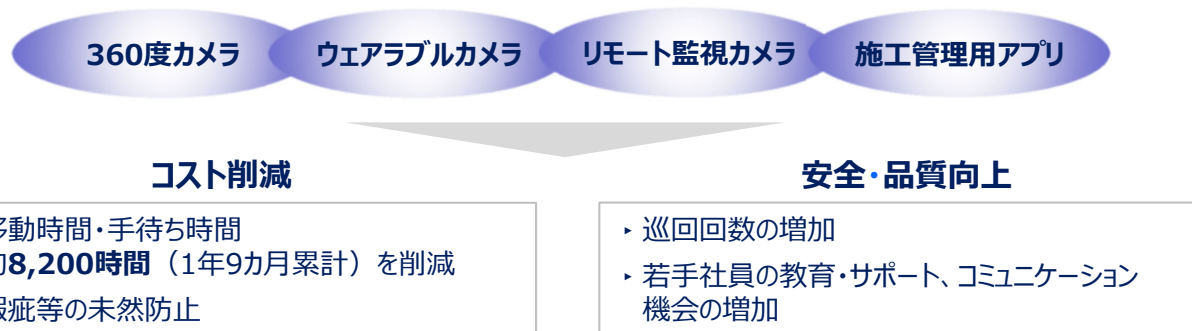
## 第7次中期経営計画の主な取り組み／技術戦略

### 現場支援体制の充実とデジタル技術の活用による施工管理効率化

#### ■現場支援体制の充実



#### ■デジタル技術活用による施工管理効率化



技術戦略の取り組み事例：施工管理の効率化についてご説明いたします。

施工品質を確保しながら 効率化を進めるため、「ヒトの要素に着目した現場力向上」と「デジタル技術の活用」を推進しています。

スライド上部には、「ヒト」への取り組みの具体例として、「ONE TEAM 活動」と「Face to Face 現場ヒアリング」を記載しています。技術・工程が難しい現場、原価管理・採算確保が難しい現場、また、若手が担当している現場を支援するための取り組みです。

「ONE TEAM 活動」では、施工プロセスの初期段階から、組織横断的なチームを組んで、原価低減や施工リスク対策などに努めております。「Face to Face 活動」では、現場を熟知したベテランが、現場に赴き、ヒアリングを通じて悩みや疑問点を解消し、ノウハウや勘所を伝えています。

スライド下部は、デジタル技術の活用例です。3種類のWEBカメラ（360度カメラ、ウェアラブルカメラ、リモート監視カメラ）や施工管理用アプリを全社の工事部門に導入し、リモートで画像を共有し、また、タブレットを介して図面やスケジュールも共有できるようになっています。

このような形でのデジタル技術の活用が、移動時間減少などによる「コスト低減」、ペーパーレス化、「安全・品質の向上」、また、「人材育成・ノウハウの伝承」に役立っていると考えています。

## 第7次中期経営計画の主な取り組み／人材戦略

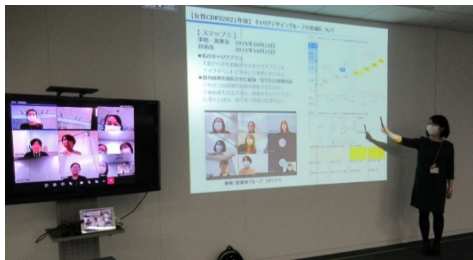
### 多様性（ダイバーシティ）の推進と働き方改革“Smart Work”

ダイバーシティの推進		2021年度	2022年度
女性活躍	新卒採用者に占める女性割合	20.7%	※1 23.1%
	管理職に占める女性割合	5.4%	6.1%
男性育休	3歳未満の子供を有する男性の育休取得率	22.8%	※2 34.5%
	当該年度に子供が生まれた男性の育休取得率	61.5%	93.3%

※ 6月23日(金)開催の株主総会会場にて映写した資料に誤りがございました（訂正後の数値を記載しております）。  
 ※1 誤25.0% ⇒ 正23.1% ※2 誤32.8% ⇒ 正34.5%

#### 女性キャリアデザインプロジェクト

- ・女性コミュニティの確立（対話会を実施）
- ・他企業・異業種との交流（設備女子会等に参加）
- ・キャリアプラン支援（キャリアデザイン発表会を実施）



▲ 仕事とプライベートを両立しながら働き続けるためのキャリア形成プランを発表

#### 健康増進

- ・社員の健康と活力を向上させる施策を展開

##### 運動

- ・歩数イベント開催：4回

##### セミナー研修

- ・セミナー動画を配信：6件

##### コミュニケーション

- ・社内SNSの活用

##### 意識付け

- ・「一言健康ポイント」の表示：毎週更新

人材戦略の取り組み事例：多様性（ダイバーシティ）の推進と働き方改革“Smart Work”についてご説明いたします。

当社では、従来から女性活躍を積極的に推進しています。新卒採用者における女性社員の比率は20%を目標にしておりますが、2022年度（第58期）は23.1%になりました。女性管理職の比率も徐々に上昇してきており、2022年度（第58期）では6.1%になっております。

女性のキャリア形成を支援する取り組みの一環として、男性社員の育児参加を奨励しております。2022年度（第58期）においては、3歳未満の子供を持つ男性社員の育児休暇取得率は34.5%、当該年度に子供が生まれた男性社員の取得率は93.3%となりました。

女性社員のネットワークづくり支援のために立ち上げた「女性キャリアデザインプロジェクト」は、発展・進化しています。社内での対話会やキャリアプラン支援に加え、他企業や異業種との交流も行っております。

従業員エンゲージメントを高めるため、社員の健康と活力を向上させる施策を展開しました。具体的には、「歩数イベントの開催」、「セミナー動画の配信」、社内SNSを活用した「社員同士のコミュニケーションの活性化」、社内掲示板での「一言健康ポイントの掲載」などです。

# 財務目標の達成状況：2022年度（第58期）連結損益

(単位：億円)

	第7次中期経営計画							
	2020年度 (第56期) 実績	2021年度 (第57期) 実績	2022年度（第58期）					
			期首業績 予想 ※	実績	対前年度		対期首業績予想	
受注高	743	789	800	<b>873</b>	<b>+84</b>	<b>+10.7%</b>	<b>+73</b>	<b>+9.2%</b>
売上高	731	754	800	<b>839</b>	<b>+84</b>	<b>+11.2%</b>	<b>+39</b>	<b>+5.0%</b>
営業利益	39	56	45	<b>59</b>	<b>+2</b>	<b>+5.1%</b>	<b>+14</b>	<b>+32.3%</b>
経常利益	45	61	50	<b>66</b>	<b>+4</b>	<b>+7.4%</b>	<b>+16</b>	<b>+32.4%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	43	35	<b>46</b>	<b>+2</b>	<b>+6.2%</b>	<b>+11</b>	<b>+32.7%</b>
ROE (自己資本利益率)	5.2%	7.1%	6.0%	<b>7.4%</b>				

※2022.5.12発表 「2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示（2023.4.28）

財務目標の達成状況についてご報告いたします。

2022年度（第58期）の「受注高」は、データセンターや大規模再開発案件などの受注が好調に進んだことから、対前期で10.7%（84億円）増加し、873億円となりました。

「売上高」は、前期からの繰越工事や、当期に受注した工事が順調に進捗したことなどにより、対前期で11.2%（84億円）増加し、839億円となりました。

「利益」につきましては、前期に比べ、好採算の大型工事は減少する一方、売上高が拡大し、一定の施工効率化が図られたことから、対前期で5.1%（2億円）増加し、59億円となりました。経常利益は66億円、当期純利益は46億円となっています。

期首の時点では、対前年で「増収・減益」を予想していたのですが、受注高・売上高・利益、いずれも期首の業績予想（事業計画）に比べて大幅に増加し、「増収・増益」で着地することができました。



## 2022年度（第58期）完成案件（1）

### 博多イーストテラス

博多駅前の新たなオフィスビル



所在地	福岡県福岡市
延床面積	29,200㎡
規模	地上10階
当社施工	空調

### 住友不動産 東京三田ガーデンタワー

田町・三田エリアの大規模オフィスタワー



所在地	東京都港区
延床面積	200,541㎡
規模	地上42階/地下4階
当社施工	空調

2022年度（第58期）の主な完成物件をご紹介します。

注力領域の一つである データセンターについては、お客様との関係もあり、紹介できませんが、大型物件が完成しています。

このページでは、オフィスビルを2つ紹介させていただきます。

ページ左側は、「博多イーストテラス」、九州の陸の玄関口である博多駅前に近接し、ボウリング跡地をオフィスビルに再開発した施設です。福岡市が官民連携で推進する「博多コネクティッド」による「博多コネクティッドボーナス」の第1号物件として認定を受けております。空調設備を担当させていただきました。

右側は、「住友不動産 東京三田ガーデンタワー」、港区三田における複合再開発プロジェクトの中核施設です。地上42階、地下4階の高層オフィスで、田町・三田エリアの新しいランドマークタワーです。空調設備を担当させていただきました。

## 2022年度（第58期）完成案件（2）

### プロロジスパーク猪名川1

西日本全域をカバーする新たな物流拠点



所在地	兵庫県川辺郡
延床面積	218,179㎡
規模	地上6階
当社施工	空調・衛生

### シタディーンハーバーフロント横浜

横浜港大さん橋を一望できる滞在型ホテル



所在地	神奈川県横浜市
延床面積	13,831㎡
規模	地上17階/地下2階
当社施工	空調・衛生・電気

このページでは、物流施設と サービスアパートメント（滞在型ホテル）の完成物件をご紹介します。

ページ左側は「プロロジスパーク猪名川1」、兵庫県川辺郡に立地し、新名神高速道路を軸として西日本全域をカバーする延床面積21.8万平方メートルの物流施設です。空調・衛生設備を担当させていただきました。

右側は「シタディーンハーバーフロント横浜」、我が国の近代化に際し、西洋文化の窓口であった横浜関内エリアに立地し、みなとみらい線「日本大通り駅」に直結した滞在型ホテルです。本敷地にはかつて「横浜電話交換局」があり、電話交換 発祥の地として知られております。神奈川県庁をはじめとする官公庁や横浜スタジアム、大さん橋、山下公園、横浜中華街などが徒歩圏内にあり、ビジネス・観光の拠点として利便性に富んでいます。空調・衛生・電気設備を担当させていただきました。



## ■ 基本方針

### コア事業を深める

- ・営業・技術基盤の強化と深化、経営資源の最適配分による収益力向上

### 事業領域を広げる

- ・イノベーションによる成長領域の拡大

### 経営基盤を高める/ESG経営

- ・人材マネジメントの充実による人的資本の価値向上
- ・サステナビリティ経営推進による社会価値の創造

当社グループが対処すべき課題についてご説明いたします。

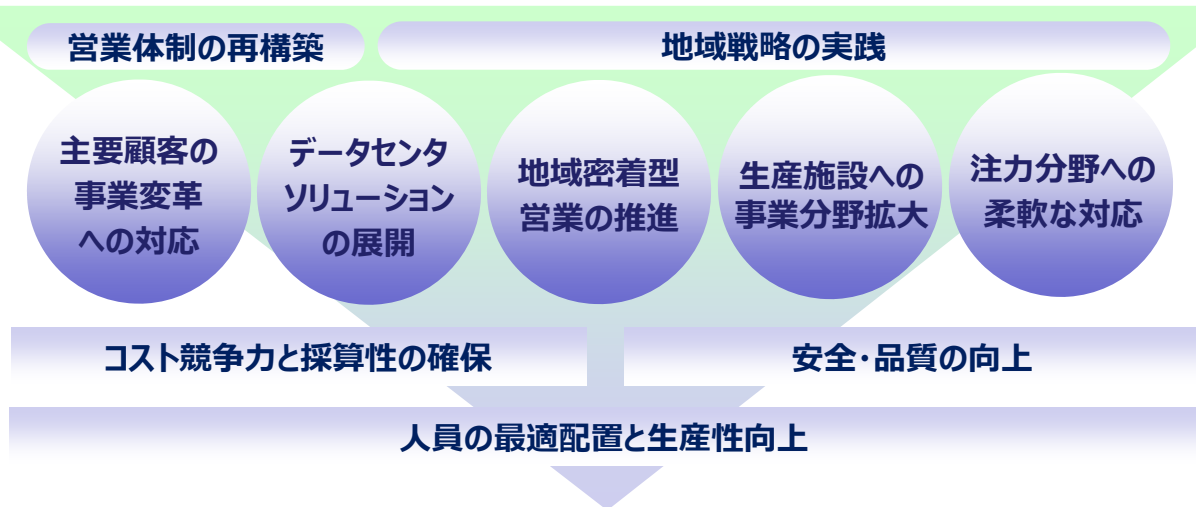
当面の景気動向は、ウィズコロナのもと、各種政策の効果もあり、引き続き回復することが期待されますが、海外経済の減速や金融資本市場の変動の影響などによる下振れリスクに注意する必要があります。

建設業界におきましては、当面は堅調な建設投資が期待できますが、資材価格の上昇などへの留意が必要です。

このような状況のもと、当社グループは、2023年度（第59期）を初年度とし2025年度（第61期）までの3年間の事業運営に関する「第8次中期経営計画」を策定しました。「コア事業を深めること」、「事業領域を広げること」、そして、「経営基盤を高めること/ESG経営」を基本方針としております。

## 第8次中期経営計画

### コア事業を深める



### 事業領域を広げる

#### カーボンニュートラル事業推進 （『HIBIYA未来創造』の展開）

- ▶ リニューアルZEBの受注拡大
- ▶ エネルギーサービス事業の支援

#### 成長領域の拡大に向けたイノベーション

- ▶ コア事業・成長事業に寄与する知的財産の強化（産学連携）
- ▶ エネルギー融通技術の高度化（実証・シミュレーション）

「コア事業を深める」ため、

営業面では、「営業体制の再構築」に取り組もうと考えております。具体的には、

- ・ N T Tグループをはじめとした主要顧客による事業変革の動きに対し、スピーディな対応を図る体制を整えるとともに、「データセンター・ソリューション」に向け、専属チームに情報を集約し、建物オーナーや多様なアライアンス・パートナーに対する多面的な営業体制を構築します。

また、「地域戦略の実践」を図りたいと考えています。

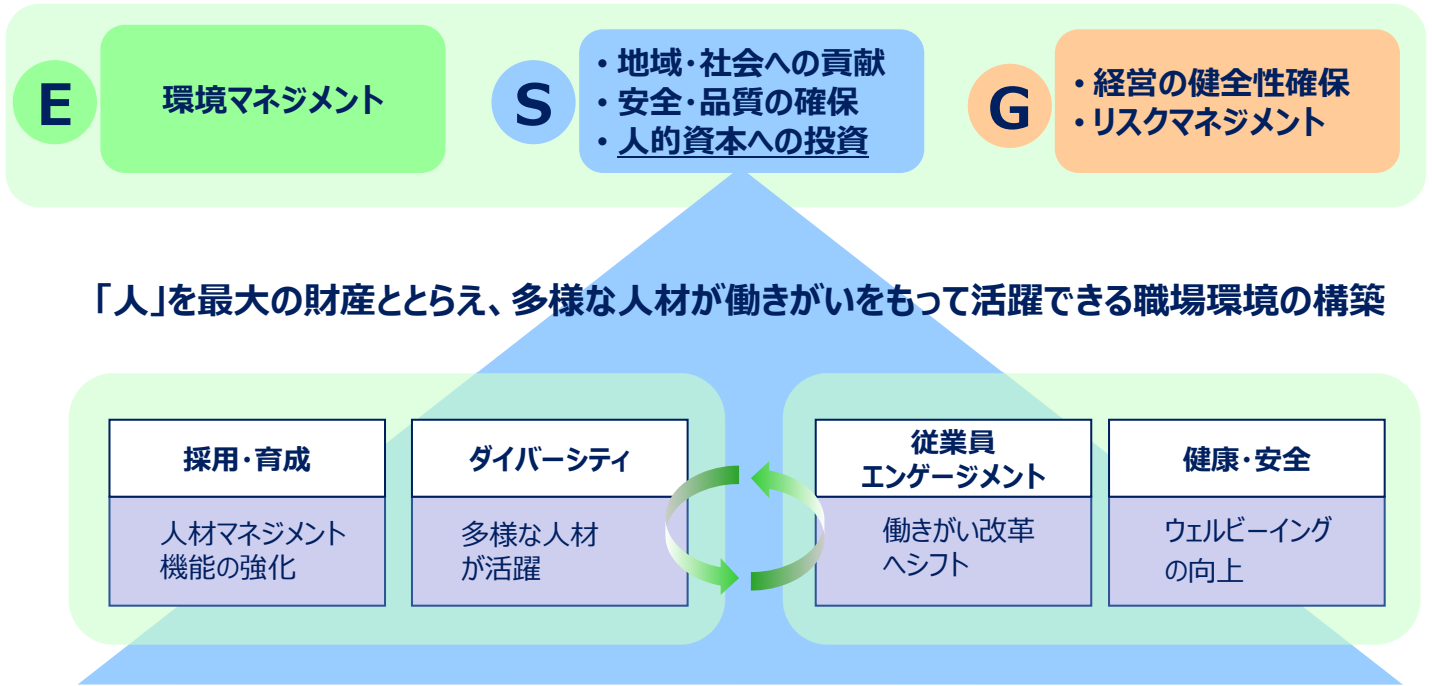
- ・ 「データセンター」、「生産設備」、また、「オフィス」、「教育・ヘルスケア」、「ホテル」といった注力分野について、地域拠点ごとの産業基盤や需要動向に即して柔軟に対応します。

技術・経営管理面では、「コスト競争力と採算性の確保」や「安全・品質の向上」に磨きをかけつつ、「人員の最適配置と生産性向上」を図ってまいります。

「事業領域を広げる」ための施策としては、カーボンニュートラル事業／『HIBIYA未来創造』を推進するため、リニューアルZEBの受注拡大やエネルギーサービス事業の支援に取り組むとともに、イノベーションの促進に向け、産学連携や実証実験といった手法も活用し、知的財産の強化や技術の高度化を図ります。

# 第8次中期経営計画

## 経営基盤を高める/ESG経営



持続可能な社会実現への貢献に向け、「ESG経営」に取り組んでまいります。また、「S」を構成する要素のうち、「人的資本への投資」によって「経営基盤を高めて」行きたいと考えております。

「人」を最大の財産ととらえ、多様な人材が働きがいをもって活躍できる職場環境を構築したいと考えており、そのため、「採用の多様化」、「自律性を重視した育成」、「ダイバーシティの促進」を図るとともに、「従業員エンゲージメント」を高め、「心身の健康」と「安全」を確保するための施策を行ってまいります。

# 財務目標

(単位：億円)

	2022年度 (第58期) 実績	2023年度 (第59期) 業績予想	2025年度 (第61期) (第8次中計最終年度) 目標
受注高	873	865	910
売上高	839	850	905
営業利益	59	50	65
親会社株主に帰属する 当期純利益	46	38	48
ROE (自己資本利益率)	7.4%	6.0%	7%以上

## 資本コスト (株主資本コスト) を上回るROE (自己資本利益率) の確保

### 持続的な利益の拡大

- ・ 持続的な収益の拡大・利益率の改善
- ・ 第8次中期経営計画最終年度においてROE7%以上を目標とする

### キャッシュの有効活用 (キャッシュフロー・余剰資金)

- ・ 成長投資 (バリューチェーン深化・拡大)
- ・ 人的資本・技術・DX等への投資 (非財務資産の価値向上)
- ・ 機動的な自己株式の取得 (資本効率の向上)

財務目標についてご説明いたします。

「第8次中期経営計画」の初年度である2023年度(第59期)の業績予想は、受注高865億円、売上高850億円、営業利益50億円、当期純利益38億円、ROE(自己資本利益率)6.0%としております。前年度と比較して好採算案件が減少すること、また、資機材の価格上昇が継続することを想定し、「増収・減益」を予想しています。

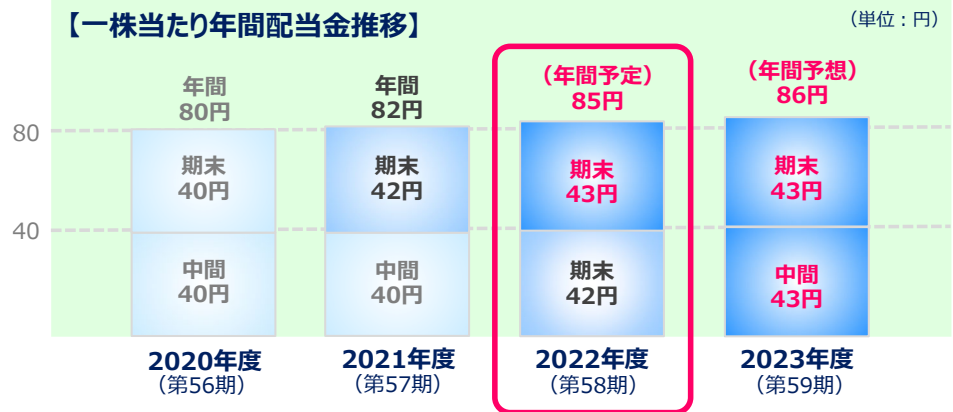
「第8次中期経営計画」の最終年度である2025年度(第61期)に向けては、受注高及び売上高を900億円以上、営業利益65億円、当期純利益48億円、ROE(自己資本利益率)7%以上、に改善することを目指してまいります。

スライド下部で、資本コストを上回るROE(自己資本利益率)確保の考え方について説明しております。「持続的な利益の拡大」および「キャッシュの有効活用」を通じ、ROE(自己資本利益率)やPBR(株価純資産倍率)の改善を目指していきたいと考えております。

# 株主還元施策の状況

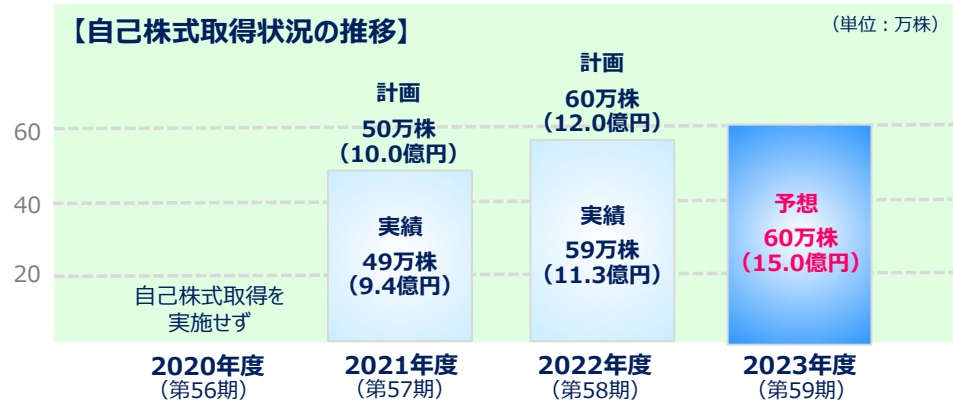
## 株主配当

安定的かつ継続的な株主配当



## 自己株式取得

機動的な自己株式の取得



株主還元についてご説明いたします。

安定的・継続的な配当の維持・向上に重きをおきつつ、機動的に自己株式を取得するという方針で取り組み、株主還元を充実させてまいりました。

2022年度（第58期）の株主配当は、中間配当金として42円をお支払いしており、本総会におきまして第1号議案が承認されますと、期末配当は1円増配の43円となり、当期の年間配当金は1株につき85円となる予定です。

2023年度（第59期）の配当金につきましては、中間配当・期末配当ともに43円を継続し、1株につき86円の年間配当を予想しています。前期に比べて1円、3期連続の増配となります。

自己株式の取得につきましては、2022年度（第58期）は、約59万株、11億3千万円を実施しております。2023年度（第59期）は、60万株、15億円を上限とした取得を予想しています。